令和６年度　事業所における自己評価総括表（公表）

○事業所名	児童デイサービス　ばんぶう			
○保護者評価実施期間	令和6年　12月　23日		～	令和年　1月　17日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	15	（回答者数）	14
○従業者評価実施期間	令和６年　12月　23日		～	令和７年　1月　17日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和７年　2月　7日			

【分　析　結　果】

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の障がい特性や保護者のニーズに合わせた個別支援計画の作成に努め、利用者が一人で出来る力を育める環境作りを実施している。	・個別支援計画作成時、保護者を含め、各関係機関より情報収集を行う。（学校や他事業所での取り組みや学習の内容等）又、日々の利用者の様子をケース記録に記載、アセスメントをしっかり行い個別支援計画に反映させている。 ・個別支援会議を適時行い、職員間での情報発信や共有に努めている。 ・課題設定を明確に行い、集団活動、個別活動どちらも個々に合わせたスケジュールで活動の提供を行っている。	・個別支援計画に沿った記録をする。又、その他の情報も特記事項に記載する事で情報漏れがないように努めていく。 ・保護者だけではなく利用者への聞き取りや説明も行い、自己決定支援を忘れずに作成をする。
2	・毎日楽しく利用している利用者が多く、保護者へも利用の様子が伝わっている。	・利用者がやりたい事をすぐに活動に取り入れている。 ・事業所内の玩具は個々に合わせたものを毎年購入したり、他事業所（デイサービス若竹、たけのこ）と玩具の交換会を行い利用者が飽きないような工夫をしている。 ・事業所内活動だけではなく、近隣の公園を利用した園外活動や季節に合わせた制作・行事、長期休業中はクッキングや社会訓練を計画し実施している。 ・日々の様子を伝える連絡帳は、利用している状況を詳しく書く事で保護者の方に伝わりやすいように努めている。	・長期休業時の行事の企画の際、利用者から行きたい場所ややりたい事を事前に聞き、行事へ反映させていく。 ・今年度事業所にてLINEの開設をした為、利用者の楽しんでいる様子を保護者の方に、より伝わるような配信の工夫をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・立地状況。	・道路に面しているが、建物は奥にある為、児童施設だという事が分かりづらい。	・賃貸物件の為、屋外に工夫は出来ないが玄関に外から見える飾り付けなどを行い、外からでも分かるように工夫していく。
2	・非常災害に備えた避難訓練を行っているが、保護者に実施している事が十分に伝え切れていないのが現状。	・年４回計画・実施しているが利用者の急な利用キャンセルなどがあり実施出来ていない利用もいる。	・事前のお知らせや、実施後の様子を連絡帳にて詳しく伝えていく。 ・今年度事業所にてLINEの開設をした為、利用者が訓練している様子を保護者の方に、より伝わるような配信の工夫をしていく。
3	・緊急時の対応や防犯、感染症対応等のマニュアルを策定しているが、保護者には十分に伝え切れていないのが現状。	・契約時や変更があった際は都度周知・説明している。	・定期的なマニュアルの見直しをしていく。 ・今年度事業所にてLINEの開設をした為保護者の方に、より伝わるような配信の工夫をしていく。